

第8回ハンドボール男子ユースアジア選手権ヨルダン大会 日本チーム準決勝進出

9月16日（日）よりアンマンにて開催されている第8回ハンドボール男子ユースアジア選手権にて、大学生と高校生からなる男子日本代表U-19チームは、9月20日（木）から22日（土）までのメインラウンドを2勝1敗で第一グループの2位につけ、24日（月）からの準決勝進出を果たすと共に、これにより今大会での目標としていた来年のマケドニアにおけるU19ワールドカップへの出場権を確保しました。メインラウンドの初戦のバハレーン戦は、序盤7対0とリードし、前半を14対8で終えたものの、後半は相手にペースをつかまれ、終わってみれば23対27の逆転負けとなってしまい、今後は懸念されましたが、21日のヨルダン戦は完全なアウェーの環境の中でも、終始落ち着いて危なげなく33対13と大差で勝ちました。その勢いに乗って、22日の2位通過をかけたインドとの大一番においても、前半の途中までは7対8と一進一退のリードを許す接戦でしたが、そこから逆転して前半を20対12で終わると、後半では、粘るインドを一気に突き放し、終わってみれば41対18の大差で勝利しました。21日（金）、22日（土）は当国の週末ということもあり、子供たちも含め在留邦人の方々や、柳大使夫妻と大使館員有志家族も応援に参加し、選手の皆様と共に、準決勝進出、世界選手権出場を喜びました。

24日の準決勝は、これまでと同じプリンセス・スマイヤ・ホールで、午後3時半からバハレーン vs チャイニーズ・タイペイ、5時半から日本 vs サウジアラビアが予定されており、26日の午後4時から3位決定戦、午後6時から決勝戦となります。試合を重ねるにつれて力をつけてきた日本チームのさらなる飛躍に期待して応援しましょう。



21日の試合後



22日の試合後